



Press release

2022年11月17日

アクサ生命、全国の経営者 4,174 人に聞いた『社長さん白書 2022』を発表

～会社・経営者の健康づくり、気候変動への取り組みの現状と課題とは～

アクサ生命保険株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長兼CEO:安淵 聖司、以下「アクサ生命」)は、全国47都道府県の中小企業経営者を対象に実施した意識調査の結果に基づき、『社長さん白書2022』を発表しました。

アクサ生命が共済・福祉制度をお引き受けしている商工会議所会員企業を中心に、本調査への回答にご協力いただき、2004年以来11回目となる今回は、会社の健康づくり(健康経営®)や経営者ご自身の健康づくりと老後生活について、さらに昨今注目が高まっている気候変動対策についても、初めて伺いました。

※「健康経営®」はNPO法人健康経営研究会の登録商標です。

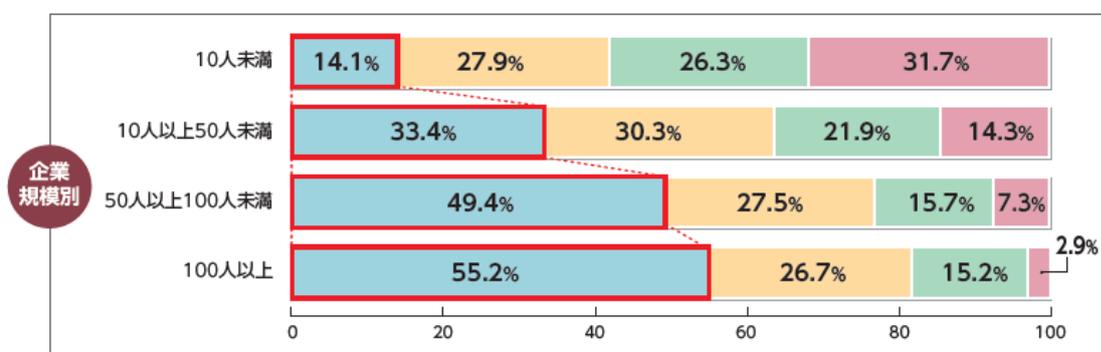
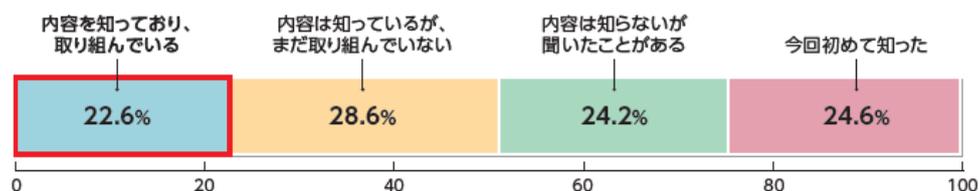
【主な調査結果】

■会社の健康づくりについて

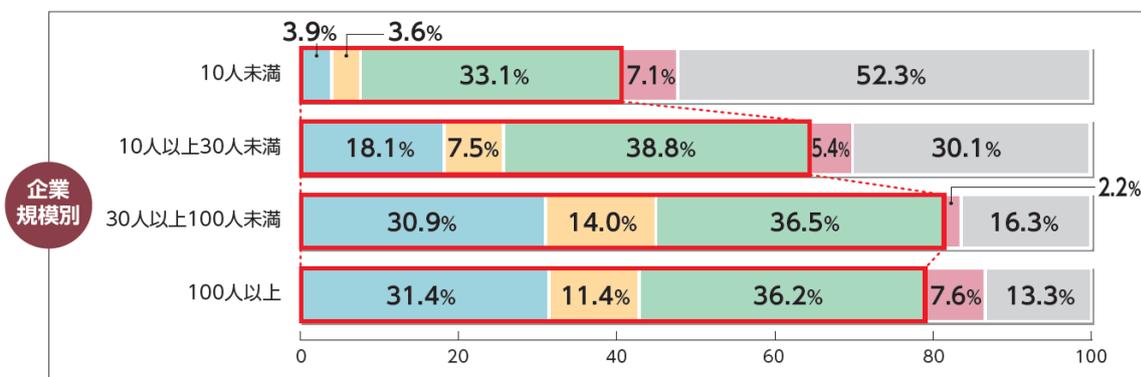
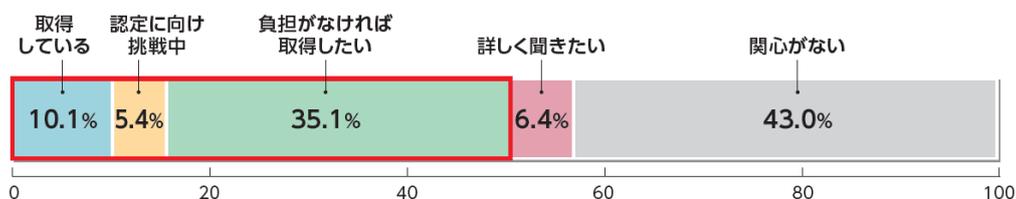
- 従業員の健康づくりを重要な経営課題と位置づけ、生産性や企業価値の向上につなげる「健康経営」について、内容を知っている(「内容を知っており、取り組んでいる」または「内容は知っているが、まだ取り組んでいない」を選択)と答えた経営者は51.2%と、2017年の26.0%の約2倍となっています。
一方で、「内容を知っており、取り組んでいる」(22.6%)よりも「内容は知っているが、まだ取り組んでいない」(28.6%)と回答した経営者が多く、健康経営の導入・実践のサポートの必要性がうかがえます。
- 「健康経営優良法人認定*」の取得については、半数以上の回答者が関心がある(「取得している」、「認定に向け挑戦中」、「負担がなければ取得したい」のいずれかを選択)と回答し、認定取得への関心の高さを示す結果となりました。健康経営の導入や実践に関するアドバイスやサポートが得られれば、認定取得に取り組む企業がさらに増えることが予想されます。
*健康経営優良法人認定制度:地域の健康課題に即した取組や日本健康会議が進める健康増進の取組をもとに、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度(経済産業省ホームページ)
- 社員の体調不良が経営に影響を与えたと感じたことがあると回答した経営者は半数以上を占め、社員の健康が企業にとって重要であると考えている経営者が多いことがわかります。
- コロナ禍が社員の健康にどのように影響したかを聞いた質問では、身体の健康と心の健康のいずれについても、悪影響を及ぼした(「非常に悪い影響が出ている」または「やや悪い影響が出ている」を選択)と回答した経営者が約3割に上りました。この結果は前回2021年の結果(身体の健康:15.3%、心の健康:25.4%)から悪化傾向にあり、コロナの影響が長引く中、企業にとって社員の心身両面に対するサポートは急務と言えそうです。

調査結果

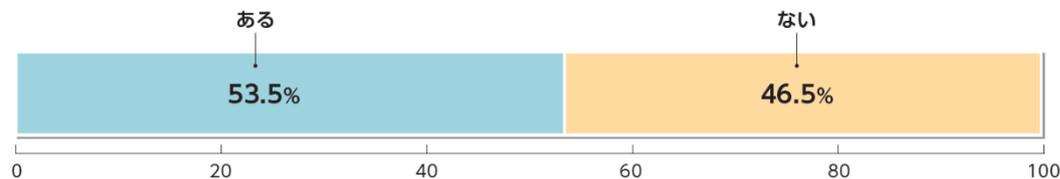
Q. 会社として、生産性や収益性向上を目的として従業員の健康づくりに取り組むことを「健康経営」と言います。「健康経営」をご存じですか？



Q. 健康経営優良法人認定に関心がありますか？



Q. 社員の健康が経営に影響を与えたと感じたことはありますか？

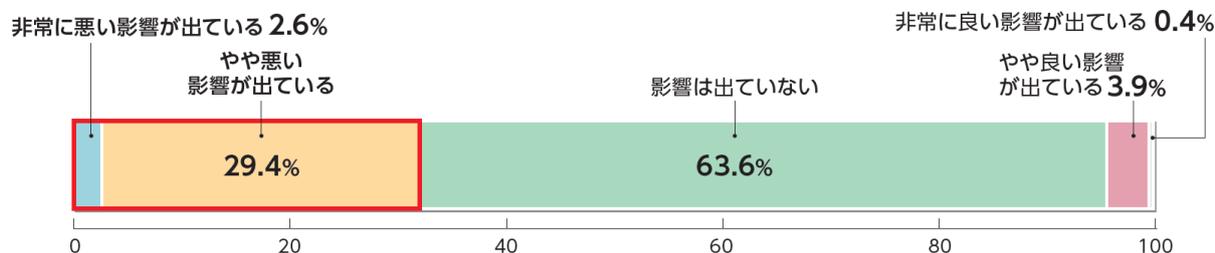


Q. コロナ禍の影響で従業員の身体・心の健康にどのような影響が出たか、教えてください。

身体への影響について



心の健康への影響について

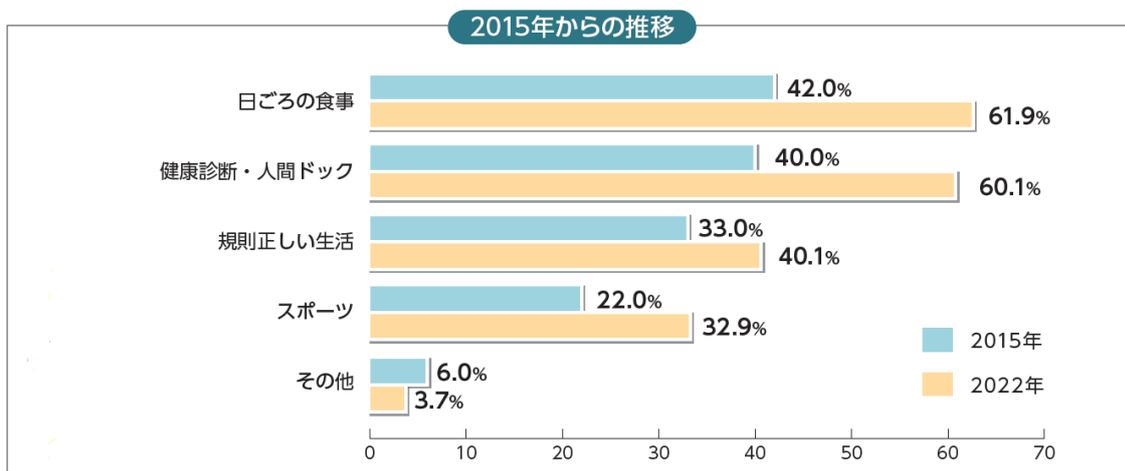
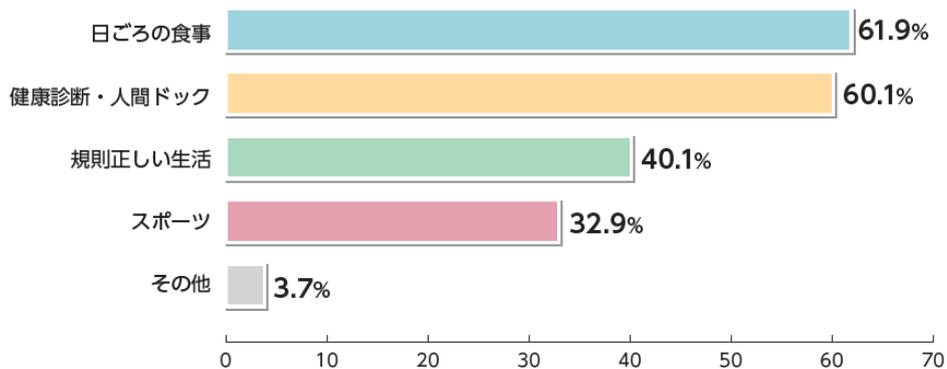


■ 経営者ご自身の健康づくり、老後生活について

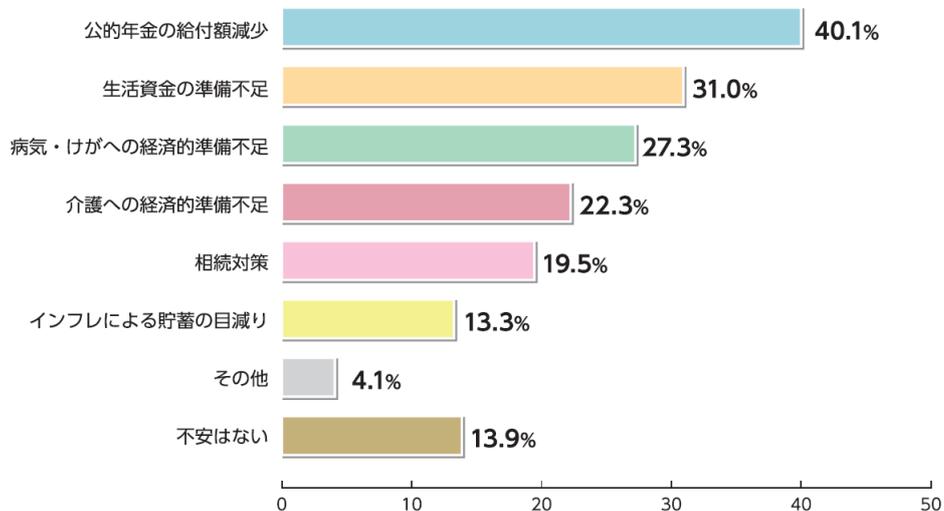
- 自身の健康のために取り組んでいることとして、「日ごろの食事」や「健康診断・人間ドック」と回答した経営者の割合は2015年から約20%増え、経営者自身の健康に対する意識が高まり、健康づくりの取り組みも大きく進んでいることがうかがえます。
- 老後生活における不安について、「公的年金の給付額減少」、「生活資金の準備不足」をあげる経営者が3割を超えました。また、昨今の物価高の影響を受け、「インフレによる貯蓄の目減り」と回答した経営者は13.3%と、2015年の6%から2倍以上に増えています。
- 「受け取りたい退職金の金額*」は、過去の調査結果から大きな変化はありませんが、2,000万円前後とする回答（「1,000万円以上～2,000万円未満」(19.2%)または「2,000万円以上～3,000万円未満」(18.0%)）を選択)が多くなっています。リタイア後の安心のためには、現役中から計画的に老後の生活資金を準備することが必要と言えます。
* 上記はあくまで希望額を聞いたもので、実際の役員退職金の支給額は、企業が定める役員退職金規程等に基づいて決定します。

調査結果

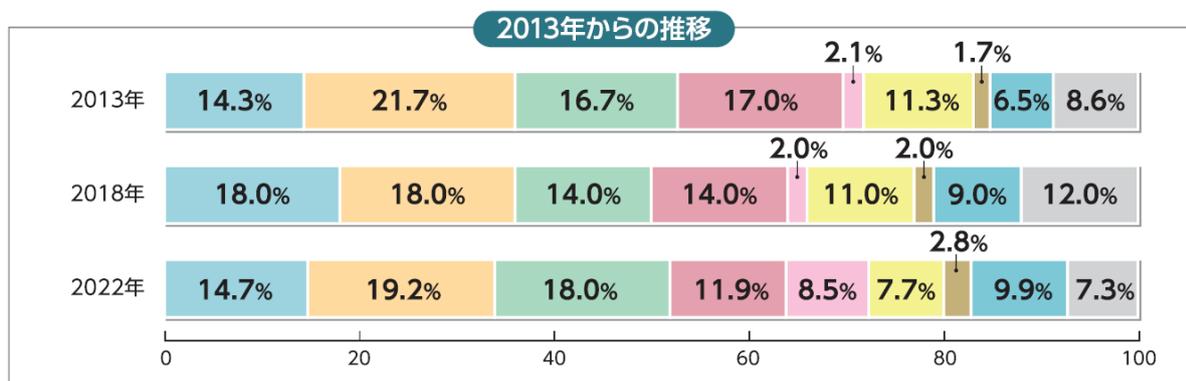
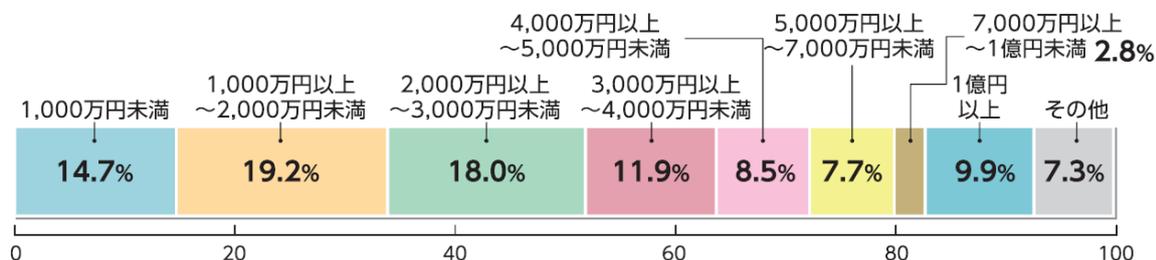
Q. 経営者ご自身の健康づくりについて、取り組んでいることを教えてください。



Q. 老後の生活における不安は何ですか？



Q. 受け取りたい退職金の金額について教えてください。

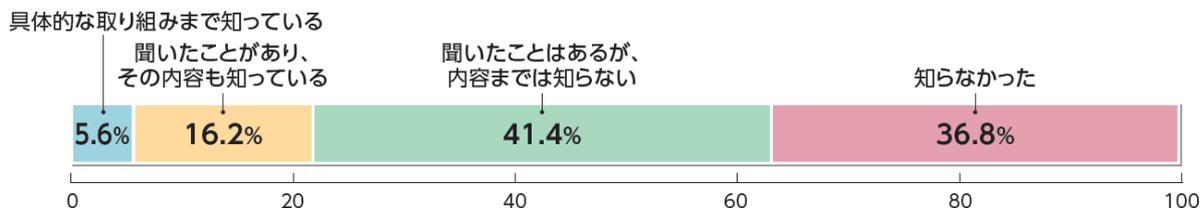


■気候変動への取り組みについて

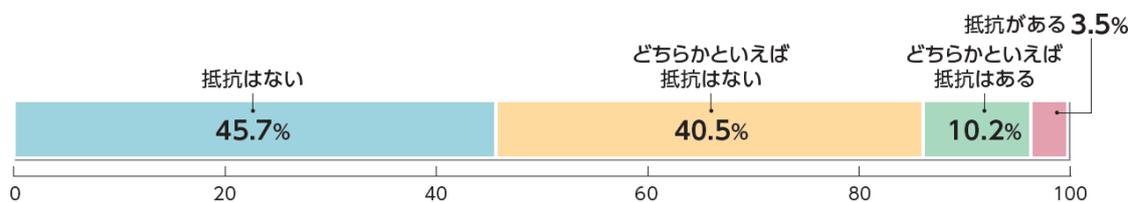
- 「気候変動適応」という言葉の認知率(「具体的な取り組みまで知っている」(5.6%)、「聞いたことがあり、その内容も知っている」(16.2%)、「聞いたことはあるが、内容まで知らない」(41.4%)のいずれかを選択)は6割を超えています。内容についての認知はまだまだのようです。
- 気候変動対策のために日常の行動を変えることに対しては、抵抗がない経営者(「抵抗はない」(45.7%)または「どちらかといえば抵抗はない」(40.5%)を選択)が8割以上を占めました。
- 気候変動対策の取り組みとして「節電する」と回答した経営者は5割超となり、職場や家庭において自主的に節電に取り組んでいる経営者が多いことがわかりました。また、「食料廃棄を減らす」、「リサイクルをする」という回答も3割を超え、経営者の気候変動に対する意識の高まりが見取れます。

調査結果

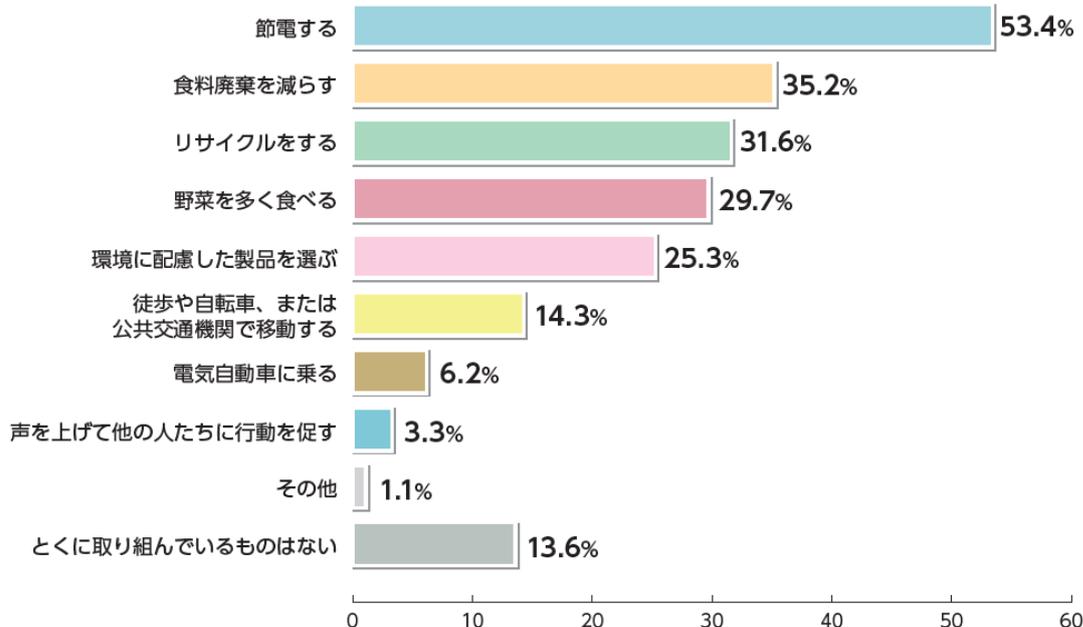
Q. 気候変動は私たちの生活に様々な影響を与えています。その影響に対処することを「気候変動適応」といいます。気候変動適応という言葉をお聞きになったことはありますか。



Q. 気候変動への対策を行う上で、ご自身の日常における行動を変えることに抵抗を感じますか？



Q. 気候変動の対策には様々な取り組みがありますが、ご自身が生活の中で意識的に行動されている取り組みについて、教えてください。





■番外編

Q.ご自身の二刀流について教えてください。

— 仕事 —

社長とデザイナー(60代)

昼は会社経営、夜は飲食店経営(40代)

会社経営と地域役員(50代)

仕事とは別に青年会議所など
ボランティア活動をしています。(40代)

店舗経営、遊漁船営業、卸売業の
三刀流です。(50代)

営業、現場作業、社長業
すべてをこなしています。(40代)

— 仕事/プライベート —

仕事は理数系、プライベートは格闘技もチャレンジしています。(50代)

仕事は社長、家庭は専業主夫(40代)

仕事は朝型、プライベートは夜型(60代)

仕事と子育て(40代)

日頃の仕事はお堅いが、趣味は頭を柔らかく
するため音楽を聴いています。(50代)

平日は会社の仕事、休日は農業・不動産業・家
族サービス(50代)

— スポーツ —

スポーツについて、観るのは野球、プレーする
のはゴルフ(全年代)

身体のケアは、スポーツ、心のケアは、お寺。
(50代)

スポーツはほとんど観るだけで、プレーは出来
ません。旅行に行き歩いたり、ウォーキングを
楽しんでいます。(60代)

観るのはマラソン(長距離競技)、プレーする
のはゆったり散歩(60代)

観るのはフィギュアスケートですが、自分では
ビーチバレーをします。(60代)

付き合いはゴルフ、自身では空手(40代)

— パーソナル&趣味 —

人に優しく、自分に厳しく(30代)

表向きは攻めの戦略家、実は慎重で石橋叩い
て渡るタイプです。(40代)

会社は、ジーパン、女子会は、和服(60代)

太鼓が叩けるサーファー(40代)

趣味は剣道と釣りで、竹刀と竿を振っています。
(50代)

昼は営業職、夜はポーカー(40代)

ロードバイク(自転車)とオートバイのエンジン
無しとエンジン付き2輪車の両方乗ってます。
(60代)



【調査概要】

調査期間:2022年7~9月

調査方法:ウェブアンケート

調査対象:全国47都道府県の中小企業経営者

回答者数:4,174名

※ 複数回答の場合は、回答者数を100%として算出しています。

※ 構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計し必ずしも100%とはなりません。

アクサ生命は、本調査の結果を踏まえ、今後も経営者の皆さまのニーズにお応えする保険商品やサービスを開発し、よりよいパートナーとして質の高いアドバイスを提供することによって、企業の持続的発展をサポートし、地域社会の活性化につながる取り組みを推進してまいります。

アクサ生命について

アクサ生命はアクサのメンバーカンパニーとして 1994 年に設立されました。アクサが世界で培ってきた知識と経験を活かし、277 万のお客さまから 522 万件のご契約をお引き受けしています。1934 年の日本団体生命創業以来築いてきた全国 511 の商工会議所、民間企業、官公庁とのパートナーシップを通じて、死亡保障や医療・がん保障、年金、資産形成などの幅広い商品、企業福利の増進やライフマネジメント[®]（人生を経営する）*に関するアドバイスをお届けしています。2021 年度には、2,346 億円の保険金や年金、給付金等をお支払いしています。

*ライフマネジメント[®]はアクサ生命保険株式会社の登録商標です。

本件に関するお問い合わせは下記までお願いいたします：

アクサ生命保険株式会社 広報部

電話：03-6737-7140

FAX：03-6737-5964

<https://www.axa.co.jp>

アクサグループについて

アクサは世界 50 の国と地域で 14 万 9 千人の従業員を擁し、9 千 500 万人のお客さまにサービスを提供する、保険および資産運用分野の世界的なリーディングカンパニーです。国際会計基準に基づく 2021 年度通期の売上は 999 億ユーロ、アンダーライニング・アーニングスは 68 億ユーロ、2021 年 12 月 31 日時点における運用資産総額は 1 兆 510 億ユーロにのびります。アクサはユーロネクスト・パリのコンパートメント A に上場しており、アクサの米国預託株式は OTC QX プラットフォームで取引され、ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス (DJSI) や FTSE4GOOD などの国際的な主要 SRI インデックスの構成銘柄として採用されています。また、国連環境計画・金融イニシアチブ (UNEP FI) による「持続可能な保険原則」および「責任投資原則」に署名しています。

*アクサグループの数値は 2021 年度時点のものです。